



編集発行 愛の園後援会 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬316-56 TEL 0739-47-1234 7649-2103 振替 00920-2-4155

『入居者の方々の昔と今』

2ユニット 葛本文一さん

白浜町市鹿野に住んでいました。

昔は山で木を伐採して三川から日置まで木材を川に流して運ぶ仕事や、炭焼きをして、ほとんど休むことなく毎日仕事をしていたが、今は愛の園へ入居し、ゆつくり気ままに過ごしています。

3ユニット 中寄美登子さん

大阪で生まれ、3歳の時から上富田町の祖母の家で育ててもらいました。

趣味は編み物で、独身時代に和裁を習っており、赤ちゃんの産着から子供の着物、大人の着物も習い、人に頼まれて縫ったこともありました。



秋の遠足 (すさみ エピカニ水族館)

20歳の時に結婚し、三女をもうけ、専業主婦として子育てをしました。煮物など家庭料理が得意でよく作り、娘たちも喜んで食べてくれました。娘から「お母さんは帽子が好きだから」と買ってくれた帽子があり、大切に保管しています。職員の皆さんはよくしてくれるので楽しく生活ができています。リビングで話をしながら食事をする事と、娘や孫が面会に来てくれる事が楽しみです。

7ユニット 中尾美恵子さん

中辺路町水上で生まれ、独身のときは栗栖川で編み物の仕事をしています。

20歳で結婚し、上富田町朝来へ来て3人の子育てをしながら別の所で編み物の仕事は続けました。家のことをしながら、忙しい日々でしたがとても楽しかったです。

休日には畑仕事もしてジャガイモやサトイモ、キャベツ、カボチャ等を育ててスーパーへ卸したり、近所の人達に分けてあげて喜んでもらえるのが嬉しかったです。愛の園では、お昼寝をしたり、ゆつくり気ままに過ごさせてもらっています。



ぬり絵

ユニット紹介 (ショートステイ)

6ユニットは、ショートステイをご利用の皆様が利用されています。

ご家族が不在になる時、介護者が少し休息するために、ご利用者の生活リズムの改善や気分転換に、又は将来の入居を考えて体験してみる等々、在宅で生活している皆様、数日間自宅を離れ、園で生活をされています。

ご高齢になり外出の機会が少なくなりつつある中、住み慣れた自宅を離れることに不安を感じている方がほとんどです。私たち職員は、お一人お一人のペースを大切に、皆様に安心して、快適な生活を送って頂けるよう、サポートに努力しています。自宅での生活と大きく変わることがないように、身体状態に合

芦谷友紀

上富田町近隣の方が多く、友人、知人と久しぶりに出会い、和気あいあいとした談笑、健康教室で歌や体操をしたり、好きなテレビ番組を見たりとゆつくり過ごして頂いています。レクリエーションで、塗り絵をすることもあり、皆さん、熱心に集中されており、感心するような色使いや、色鉛筆のタッチの作品に仕上がっている事があります。「あなた、いくつ? 私〇才」と同年代同士のコミニケーションも楽しそうな様子です。

またお元気でご利用頂けるよう、職員一同、お待ちしております。これからもよろしくお願致します。



ウエスタンリーグ (上富田スポーツセンター)



花の日の訪問 (岩田幼稚園)



不在者投票

『メリハリのある生活を』

訓練室 副主任 福田倫子

機能訓練指導員として、入居者の身体機能と生活機能の維持の為、ケアプランに添った個別機能訓練を実施しています。訓練内容は、午前中は、愛の園後援会よりご寄贈頂きましたカラオケの機器にて入居者のリクエストを聞き、歌を入力しマイクを回し歌って頂いております。歌の内容により、昔のことを思い出され涙ぐむ姿も見受けられます。歌と歌の間に、ラジオ体操、平行棒内での立位練習、歩行練習をする方が10名ほどおられます。立位、歩行練習は膝の痛みもあり、足の運びの悪い日もありますが、硬

『物を大切にすること』

後援会役員 笠松孝司



私は、もうすぐ後期高齢者の仲間入りです。世間で云われている「終活」という言葉が気になり、自室や身の周りを見直してみました。部屋の机には、新聞・読みかけの本・文具箱など放りっぱなしの状態です。その文具箱の中から、短い「チビた鉛筆」を見つけました。それを手に取ると色んな思い出が蘇ってきました。小学生の頃は、今のようには生活必需品は豊富ではなく、すべての物を大事に大切に使う時代でした。文具用品・鉛筆も然



収穫感謝祭 (岩田幼稚園より)

『初めてのシヨートステイ』

シヨートステイ利用者 久保田茂子さん

平成29年7月26日に、ふとした事で、右手首を骨折してしまい緊急シヨートで利用することとなりました。それから一か月半程、療養させていただきましたが、シヨートステイと言うシステムが良く分からないまま来たので、最初は、女性が多いので、『愛の園』と言うよりは、『女の園』と言う感じがしました。又、雰囲気がとても温かく、開放的で、心地よく過ごさせていただきました。

「もう少し楽しみにしなよ・・・」と自分に言い聞かせ、入浴など自分では出来ないことを細かく丁寧の手伝っていただき、リラククス出来て気持ち良かったです。戦前生まれの私と、戦後生まれの職員さん達と、仲良く会話ができて、何の隔たりも無い、素晴らしい6ユニットでした。



父がデイサービスセンターでお世話になり、早一年が過ぎました。当初、認知症の症状が現れだし、農繁期という事もあり、介護認定を受ける事となりました。玉置ケアマネージャーの勧めで『デイサービスセンター愛の園』を利用することになり通所開始時は、父も不安そうで行くことを渋る日もありましたが、今では朝になると、送迎の車を待つ様になり、現在は毎日通所させていたただいております。自宅では、母と二人で暮らしており、母の介護負担を考えると、毎日通所させていたたく事の有難さを痛感致します。

『父の穏やかな日々』

デイサービス利用者ご家族 小倉直樹さん



お花見 (彦五郎公園)

職員さんは、父をとっても大切にしてくれていて、心身ともに丁寧にケアをして下さいます。そのお陰か、帰宅してからデイでの様子を話してくれ、家族で穏やかな生活を送る事が出来ています。又、事務室はじめ、愛の園全体で見守ってくれている事もきつと父は、喜んでいと思っています。



運動会

会員状況		会費納入状況	
地区	2018年度 会員数	地区	2018年度 納入人数
田辺市	169	田辺市	54
上富田町	160	上富田町	61
白浜町	23	白浜町	4
県内各市町村	21	県内各市町村	5
県外	41	県外	20
合計	414	合計	144

2018年度 会計報告

愛の園後援会 貸借対照表 (2018/4/1~2019/3/31)			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	0	前期繰越金	2,380,357
郵便振替貯金	0	当期剰余金	557,935
普通預金	2,938,292		
当期欠損金	0		
計	2,938,292	計	2,938,292

愛の園後援会 収支計算書 (2018/4/1~2019/3/31)			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	2,380,357	講演費	40,522
会費	699,000	印刷費	64,800
雑収入	19	通信費	23,120
(収入小計)	699,019	払込手数料	12,210
		雑費	432
		(支出小計)	141,084
		次年度へ繰越	2,938,292
計	3,079,376	計	3,079,376

役員	幹事	会計監査	副会長	会長
事務局 堀美都子	寺前裕章	谷中順次郎	笠松孝司	上羽寛
	平岩チホコ		玉置貴彦	
	松井孝恵			
	武田寿子			
	稗田由紀子			

残暑が続いておりますが、後援会会員の皆様にはお元気で過ごしの事とお慶び申し上げます。5月から元号が「令和」となり新しい気持ちで後援会を盛り上げて行きたいと思っております。さて、今年度の後援会事業は車椅子乗降の改造車両が老朽化の為、昨年から積み立てをしていく後援費で同様の車両の買い替えを予定しております。9月16日(祝)に行われる敬老の日の行事「一日我が家」で贈呈式を行う予定です。来年の「後援会だより」で様子をご報告させていただきます。

愛の園後援会事務局
0739
47-1234(堀)

新役員ご紹介

昨年から、ご縁があり幹事として、武田寿子様にご着任いただいております。本年度より愛の園OGの稗田由紀子様にもご参加いただき事になりました。お二人共、地元の方でご存じの方も多いと思います。よろしくお願いたします。

